

# トクヴィルと《平等》の政治力学 目次

解題 01

## 第1回 中央集権、地方自治、中間集団 03

はじめに 03

トクヴィルの人物像 03

ふたつのデモクラシー、ふたつのアメリカ、

ふたりのトクヴィル 05

アメリカにおける「結社」 07

社会的結合の消滅 09

「政治結社」の重要性 10

「結社」の困難 12

祖国フランスのデモクラシー 13

おわりに——受講者との問答 15

## 第2回 平等の力学——その逆説 23

はじめに 23

アメリカの家庭生活 24

永遠の遁走——移動と焦燥 25

『オネイダ湖への旅』 28

「平等」と「平等への愛着」 31  
「平等への卑しい妬み」 33  
排除の精神と結社の精神 35  
おわりに——受講者との問答 38

## 第3回 トクヴィルと近・現代の日本社会 44

はじめに 44

多数の圧政 (La tyrannie) と

民主的な専制 (Le despotisme) 47

トクヴィルと第二帝政 49

トクヴィルと日本 52

おわりに——受講者との問答 56

### 資料

オネイダ湖への旅 61

レジュメ 第一回〜第三回 73〜68

略年表 74

文献 75

著者プロフィール 75

